

循環器内科

循環器内科臨床実習Ⅱは4週間の臨床参加型実習を行います。

実習では主治医、研修医の先生たちのもとクリニカルクラークシップ形式により、屋根瓦方式のチーム医療を行います。すなわち、指導教員のもと先輩の研修医の先生と病棟内で行動をすることで、来年あるいは再来年の自分の姿を思い浮かべながら、実習することは大きな糧となると思います。単なる見学のみでなく、受持患者の検査・治療・病状説明などに立ち会う、検査や手技の見学を行う、症例検討会や回診では症例発表を行うなど可能な限り、研修医や指導医の先生たちと入院患者・救急患者などの診療に参加してください。

* 循環器内科学臨床実習を通じて次のことを習得して下さい

- (1) これから日本の医療はどうなっていくのか、その中で循環器疾患はどのような重大な位置を占めているのか、その社会的背景は何なのか。
- (2) 循環器内科医は心不全や心筋梗塞を生じた結果、仕方なく病院を受診する患者さんを待ち受けていければよいのか、もっと行うべきことはないのか。循環器病学における予防医学とは何か。
- (3) 高血圧症と脂質代謝異常症はなぜ介入治療を必要とするのか。EBMを解釈するとはどういうことか。
- (4) 医療を実践する上での、分担・チームとは何か。医師の役割、パラメディカルの役割、それぞれの役割を分担することでどのような効用と利得が生まれるのか。
- (5) なぜ心臓は傷つくのか、なぜ血管は痛むのか、病んだ心臓と病んだ血管の連関（カップリング）がどのような病態を形成するのか。神経活性やホルモン環境はそれにどのような影響を及ぼすのか。
- (6) 心血管病を発病してしまった患者さんの苦しみはどのようなものか、彼らのQOLや生命予後をどう評価するのか。
- (7) 虚血性心疾患の診断と治療について循環器内科医はどのようなストラテジーを有するのか。
- (8) 心不全の診断と治療について循環器内科医はどのようなストラテジーを有するのか。
- (9) 循環器内科医と心臓血管外科医とはどのような連携を行うのか。
- (10) 臨床医のプライドとはなにか、あなたがたはそれを手に入れたいと望むのか。

1. 病棟実習

学内研修では研修医の下で入院患者を受け持ってもらいます。患者はその都度割り当てます。

- (ア) 患者が入院したら主治医（指導医、研修医）とともに問診、診察、検査見学、検査、病状説明など一緒に行ってください。上級医の先生とは携帯電話やPHSで常に連絡が取れるようにして下さい。
- (イ) 翌日の朝カンファレンスで入院患者の紹介を行って下さい。1症例3分以内、要点をまとめて下さい。心電図、レントゲン、エコーなどの画像も提示しながら要点をまとめる経験を積んで下さい。
- (ウ) 受け持ち症例は研修期間内に制限はありません。
- (エ) 急患が来たら呼び出します。

2. 講義

スタッフによるショートレクチャー、チュートリアルを随時行います。

(ア) 詳しい日程は実習中にお知らせします。予定表で集合場所・時刻を確認して下さい。

(イ) レクチャー、チュートリアルは各自の担当患者の心電図、冠動脈造影、心エコーなどの画像診断について解説を行いますので、各自、解説してもらいたい症例の検査所見を準備しておくようにしてください（心電図については各自でプリントして、レクチャーに持参すること）。

3. 週間スケジュール（適宜変更あり）

	月	火	水	木	金
8:00-8:15	朝回診	朝回診	朝回診	朝回診	朝回診
8:30-					
9:00 11:30	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習
	(レクチャー)	(レクチャー)	(レクチャー)	(レクチャー)	(レクチャー)
13:00 14:00	病棟実習	心不全センター カンファレンス	14:30-15:30 症例検討会	カテーテル実 習・ 病棟実習	病棟実習 まとめ
16:00 17:00		病棟実習	15:30-17:00 教授回診		

毎朝 8:00～ 朝回診（新患紹介）

6階東病棟スタッフステーション

水曜日14:30～ 心不全センターカンファレンス・症例検討会

5階西病棟カンファレンスルーム

15:30～ 教授回診

6階東病棟スタッフステーション

予定 12:00～ 昼レクチャー（実習開始日に案内します） 循環器内科教室解析室

4. レポート提出と評価

- 最終日に提出してください。
- 所定の様式に従ってレポートを作成して提出してください（4週間で原則2症例）。
- 割り当て症例について、患者の経過、治療内容、考察など記載する。
- 学内実習のアンケートに記入して下さい。
- 各指導医が質疑応答と採点をします。
- 学生の評価は以下のように行います。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	20点
回診での患者提示	20点
カンファレンスでのプレゼンテーション	20点
ショートレクチャーでの試問	20点
レポート内容	20点